

プロの技を伝授 ～本格農業体験セミナーを開催～

東日本大震災で津波被害のあった東松島市牛網（うしあみ）地区で「本格農業体験セミナー」が開催されている。



セミナーは、一般社団法人東松島市生涯現役促進地域連携事業推進協議会が主催。今年で2年目となる。

対象は、市内に在住する概ね55歳以上の方、健康で農業に興味や就農への関心のある方、通年で管理できる方で、期間は5月から11月まで全12回開講する。今年は10人が受講した。

内容は、地元農業法人より借りた3アールの農地で、土づくりから、種まき、肥培管理、収穫までの実践作業を通して、農業のプロから農業の作業手順や考え方を学ぶ体験型のセミナーとなっている。

受講生からは、「これまで家庭菜園をしてきたが、今後は本格的な野菜作りに取り組んでみたい」という声も聞かれた。

当事業を企画する引間世枝美さん（45歳）は、「シニア世代の方に第二の人生を楽しく過ごして頂きたい。セミナーを通じて、新規就農につなげ、さらに遊休農地の解消につなげれば良い」と語る。

講師を務める農地利用最適化推進委員で株式会社よつばファーム社長の熱海光太郎さん（45歳）は、「土に触れたい人はたくさんいる。農業の知識を、多くの人に広めて行きたい」と話す。

